



みむろの風

学校教育目標 「生徒の夢を育み、生徒と地域の未来を創造する学校」

令和7年度
八代市立第八中学校
令和8年1月22日
第14号 文責 坂本太郎

令和8年がスタート! 「節目」を大切に目標設定を!

令和8年(2026年)がスタートしました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。学校では、1月8日(木)に3学期始業式を行いました。始業式の中で、「節目」の紹介をしました。節目は、気持ちの区切りをつけ、次の目標設定をするのに最高のタイミングであること。また、年の初めであるこの時期に、今年一年間の目標を立て、その目標が達成できるよう努力して欲しいことを話しました。一方で、3学期はまとめの学期であり、次の学年への0(ゼロ)学期とも言われます。3年生は進路実現に向けて、1、2年生は次の学年に向けて、この3学期に次のステージへの準備をしっかりと行い、スムーズに進むことができるよう取り組んで欲しいことを話しました。最後に、竹は「節」があることで強風にも負けない反りの強さとしなやかさを身に付けて成長するそうです。皆さんのがこの節目を大切にし、校訓にある「優しく 強く 正しく」「八中プライド」をもった品格のあるハ高中生に成長してくれることを期待しています。



新年を迎え、思いを筆に込めて! 「校内席書会」



1月13日(火)、本校体育館にて校内席書会を実施しました。新しい年を迎える、新たな気持ちで書写に臨み、日本の文化的行事である席書を味わうことを目的に毎年実施しています。生徒全員が体育館に集まり、1年生は「不言実行」、2年生は「新たな目標」、3年生は「旅立ちの春」というお題に一齊に取り組みました。学校では12月の後半から国語の時間で書写に取り組んできました。書写が苦手な生徒もお手本と見比べながら、一文字一文字確認しながら丁寧に取り組んでいる姿が見られ、ハ高中生の素晴らしさをまた一つ再発見しました。今回提出された作品の中から、各学年数点ずつが選出され八代市書写展に出品される予定です。

新生徒会役員(議長・書記・専門委員長)任命式

1月19日(月)、全校集会において、新議長、書記及び専門委員長任命式(引き継ぎ式)を行いました。最初に、旧議長、書記、専門委員長から、一年間の取組について振り返りの挨拶と、それに併せて次に受け継ぐ生徒の紹介をしてくれました。そして、新役員はステージ前に整列し、校長先生から任命書が手渡され任命されました。その後、校長先生から生徒会活動の目的について、生徒自治による学校生活の充実と活性化を図ること、そのためリーダーシップをしっかりと發揮し、ハ高中生全員で新執行部をお互いに支え合い、協力しながら、よりよい学校づくりを目指してほしいと話されました。最後に、新生徒会役員の生徒それから、これから生徒会活動への意気込みや思いを語ってもらい任命式を終了しました。



大丈夫ですか? 情報通信機器の利用時間とルールについて

昨年12月に実施した熊本県「心のアンケート」の集計結果から、気になる項目がありました。家庭で自由に使える情報通信機器の利用時間と家庭でのルール(決まり事)についてです。1日の使用時間が4時間以上の生徒が22名(1年生12名、2年生3名、3年生7名)いたことです。また、家庭で決まり事はありますかという質問には、25名の生徒が「ない」と回答していました。スマホ依存の生徒がいるのではないかと危惧しています。今一度、ご家庭でも基本的生活習慣の確立と情報通信機器の適切な利用方法や使用時間、我が家家のルールについて親子で話し合う機会をつくっていただきたいと思います。

楽しい学校生活を送るために！！ 『心のアンケート』集計結果より

昨年12月に実施した『心のアンケート』の主な結果について、お知らせします。

1 「学校生活は楽しいですか」

学校生活が「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した生徒は、回答した全校生徒69人中60人(87%)という状況でした。しかし、「あまり楽しくない」と回答した生徒が8人(12%)、1人の生徒が「学校生活が楽しくない」と回答しています。理由は、学習面や人間関係など様々ありますが、すべての生徒が楽しく学校生活を送ることができるように、生徒に寄り添いながら取り組んでいきたいと考えています。

2 「学校の授業はよくわかりますか」

授業について「よくわかる」「まあまあわかる」と回答した生徒は、69人中56人(81%)という状況でした。学校では、「誰一人取り残さない学びの保障」「教職員一人一人の授業力の向上」「ICT機器の効果的な活用」を進めています。さらに、わかる授業づくりに向けての授業改善への取組や基礎・基本の定着を図る授業実践を進めていきます。本校の学力の状況として、12月に実施した熊本県及び八代市学力・学習状況調査の結果については、次回の学校だよりでお知らせする予定です。

3 「いじめられたことはありますか」

本年度になって、「いじめられたことがある」と回答した生徒は16人で、昨年より3人増加しました。内容は「冷やかし、からかい」「物を隠された、汚された」というものが中心でした。11人は「現在は続いていない、解決した」と回答していますが、5人はまだ続いていると回答しています。現在、解決に向けての対応しているところです。学校は集団生活を送る場ですので、人間関係のトラブルや意見の食い違いが生じることは必ずあります。その中で、みんなで協力して解決していく力を身に付けていくことが大切です。このことが社会に出て、社会人として生活していく時に大きな力となっていきます。困ったり悩んだりした時は、一人で抱え込まず誰かに相談すること、困ったり悩んだりしている人を見たときには、しっかりと相手に寄り添うことなど、思いやりのあるハ高中生に育てていきたいと思います。

4 「自由に使える情報通信機器をもっていますか」

回答した69人中54人(78%)の人が、スマートフォンまたは携帯電話を所有しています。それにパソコン、ゲーム機などの情報通信機器を加えると、67人(97%)の生徒がSNS等を行うことができる環境にあるといえます。種類としては、多い順に①「スマートフォン」54人(78%)、②「ゲーム機」46人(67%)、③「タブレット」14人(20%)でした。所有している生徒のうち、「使用についての家庭での決まりがある」と回答した生徒は42人(61%)で、決まりがなく自由に使っている家庭が4割ほどあります。また、個人情報(自分や友達も含めて)をネット上に載せたことがある、と回答した生徒が11人いました。次に、1日の使用時間についてですが、最も多かったのが「2時間～3時間」で19人(26%)でした。一方、「3時間～4時間」が17人(25%)、「4時間～5時間」が12人(17%)、「6時間以上」が10人(14%)と、実際に毎日4時間以上使用している生徒が22人(32%)いました。基本的な生活習慣の確立や、家庭学習の時間確保に大きく影響するのが情報通信機器の使用時間です。SNS利用によるトラブルも発生しています。11月末に実施した地域学校保健委員会講演会での高野先生から配付された資料と併せて、今一度親子で話し合う機会をつくっていただきたいと思います。

5 「誰かの役に立っている、自信にあることや大切にしていることがある」

自己有用感や自己肯定感についての質問ですが、「役に立っている」「少しはある役に立っている」と回答した生徒は、69人中48人(70%)、「自信のあることや大切にしていることがある」「少しある」と回答した生徒は、63人(91%)という状況でした。ハ高中生は生徒会活動やボランティア活動、地域の活動など積極的に参加するなど、とても頑張っていると思います。今後さらに、生徒会活動を中心に、特色ある体験活動を進めたり、ボランティア活動を実施したりするなど自己有用感を感じたり、自己肯定感を高めることができる活動を積極的に実施していきます。

学校では今回の『心のアンケート』以外にも、各学期に1～2回程度教育相談期間を設定し、事前アンケートを実施して一人一人と相談する機会を設けています。また、スクールカウンセラーが配置され、定期的に来校していますのでご相談することも可能です。カウンセラーへの面談希望がありましたら、各担任または担当(保健室村田)までにご連絡ください。また、ご家庭でお子様と話をする中で気になることなどがございましたら、学校へ連絡していただければ幸いです。家庭と学校がしっかりと連携して、子供たちの健やかな成長に繋げていければと考えています。